本社／東京都千代田区内神田3-4-15 TEL(03)3252-2231 (営･代表) 〒101-0047

〈丸山サポートセンター〉 フリーダイヤル 0120-898-114

1590620030-YP1212

取扱説明書

中耕除草機

MKC21・MKC31

注意　ガソリンのみで使用しないでください。

はじめに

この度は、中耕除草機をお買い上げいただき誠に有難うございました。

水田の中耕ロータは、適度なスリップ作用により中耕作業が抜群であり、土を反転攪拌することにより

1 太陽で暖められた温水が土中に入るため地温を上昇させる。
2 有害なガスを追い出し、酸素を供給するので根張りがよくなる。
3 表層施肥と同時に中耕すれば無駄なく根域に達し、三倍の肥効を高める。

この結果、初期生育を促進します。

この取扱説明書には、安全に関する事項や本機の正しい取扱方法.保守・点検などについて説明していますので、ご使用前にご熟読の上本機の持つ性能を充分発揮してご使用ください。

サービスについてのご用命は、お買い上げいただいた「販売店」または「弊社営業所」にご相談ください。その際、型式及び製造番号をお知らせください。

またこの説明書は1シーズンに1度は必ず読み、機械についての理解を深めていただくため大切に保管してください。

■使用目的

本製品は水田の中耕除草を目的とした製品です。この目的範囲外の使用が原因での事故および分解を行い、それに伴って生じた事故に関して一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

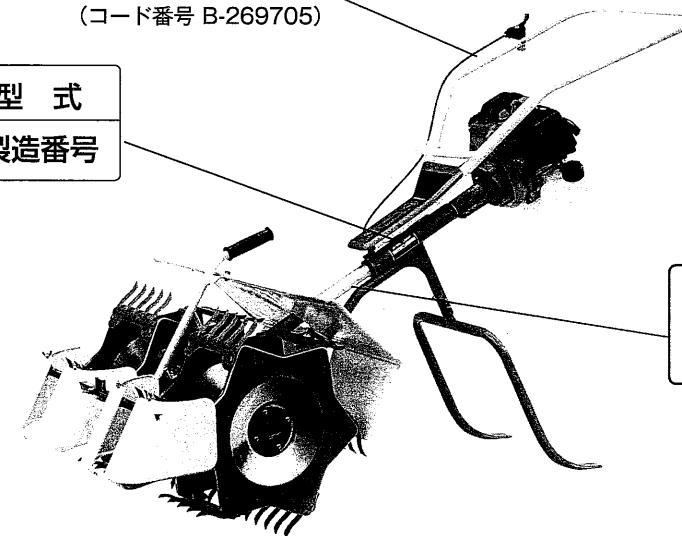
安全作業をするために

1. 次のような人は運転をしないでください。
   ■過労、病気、その他の理由により、正常な運転ができない人。
   ■酒気をおびた人、妊娠中の人、未熟練者、若年者。
2. 服装は作業に適したものを着用してください。
   ■だぶついた服装は、回転部に巻き込まれる恐れがあり危険です。
3. 燃料の補給は、エンジンを止め、周りの火気に注意して行います。
4. 作業中は、周りに十分注意し、関係者以外の人を近付けないようにします。
5. 作業中速やかに作業を中止する場合のため、スイッチの位置を確認しておきます。
6. 運転中及び停止直後のエンジン、マフラなど高温部に触れないでください。
7. 運転中は、点火プラグ及びプラグコードに手を触れないでください。
8. 次の作業のため、機械の点検、整備は必ず行います。

ラベルについて

安全な取扱について説明している「警告表示ラベル」を機械に添付しています。

●機械に貼ってあるラベルが破損したり、なくなったり、汚れがついたり、または読めなくなったら、新しいラベルに貼り替えてください。

●ラベルが貼ってある部品を交換するときは、新しいラベルも一緒に付けてください。

機械を他人に貸すときは･･･

他人に本機を貸すときは、「取扱説明書」をよく読んでもらい、取扱方法や本書にかかれている安全作業のポイントをよく理解してから作業をするように指導してください。

機械と共にこの「取扱説明書」を貸してあげてください。

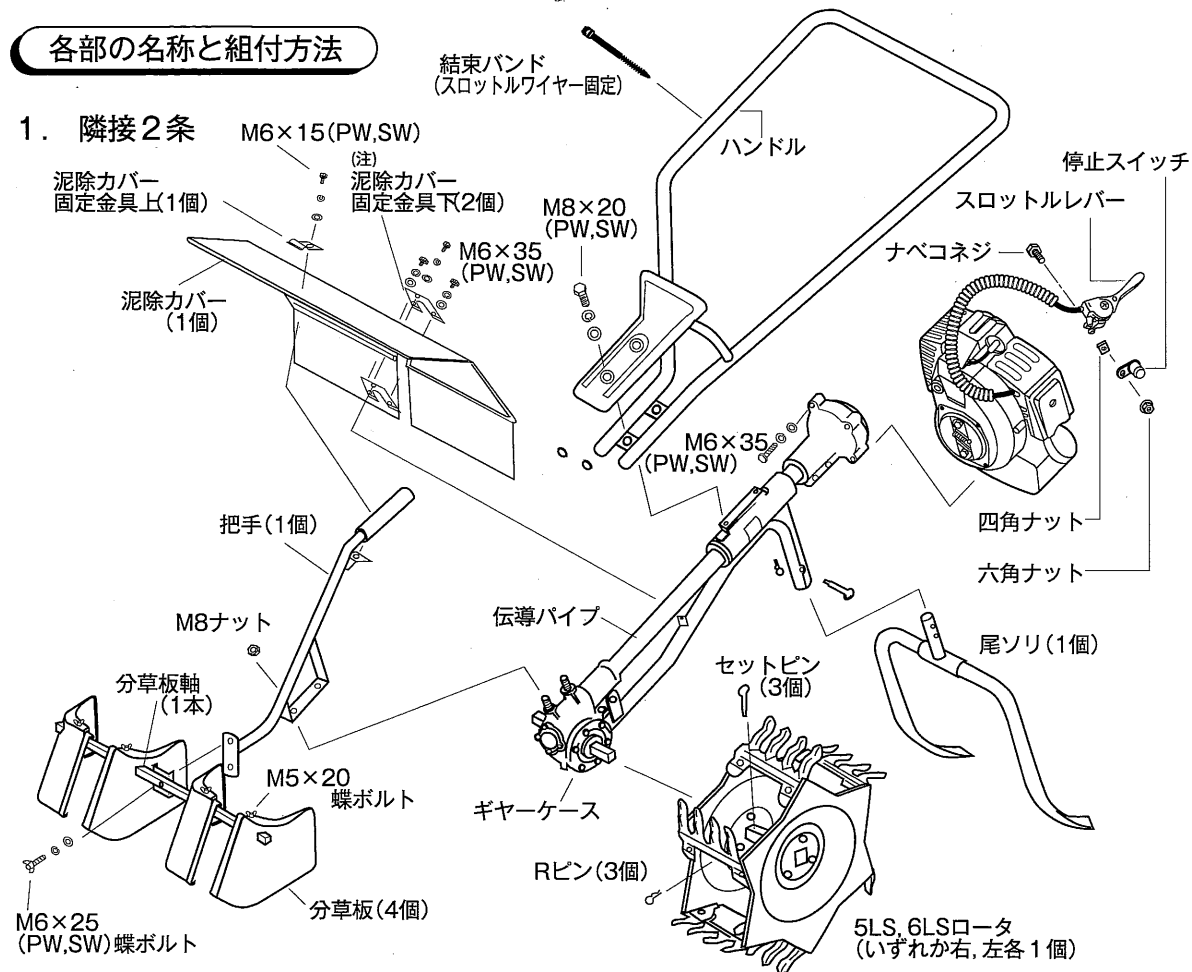
仕　　様

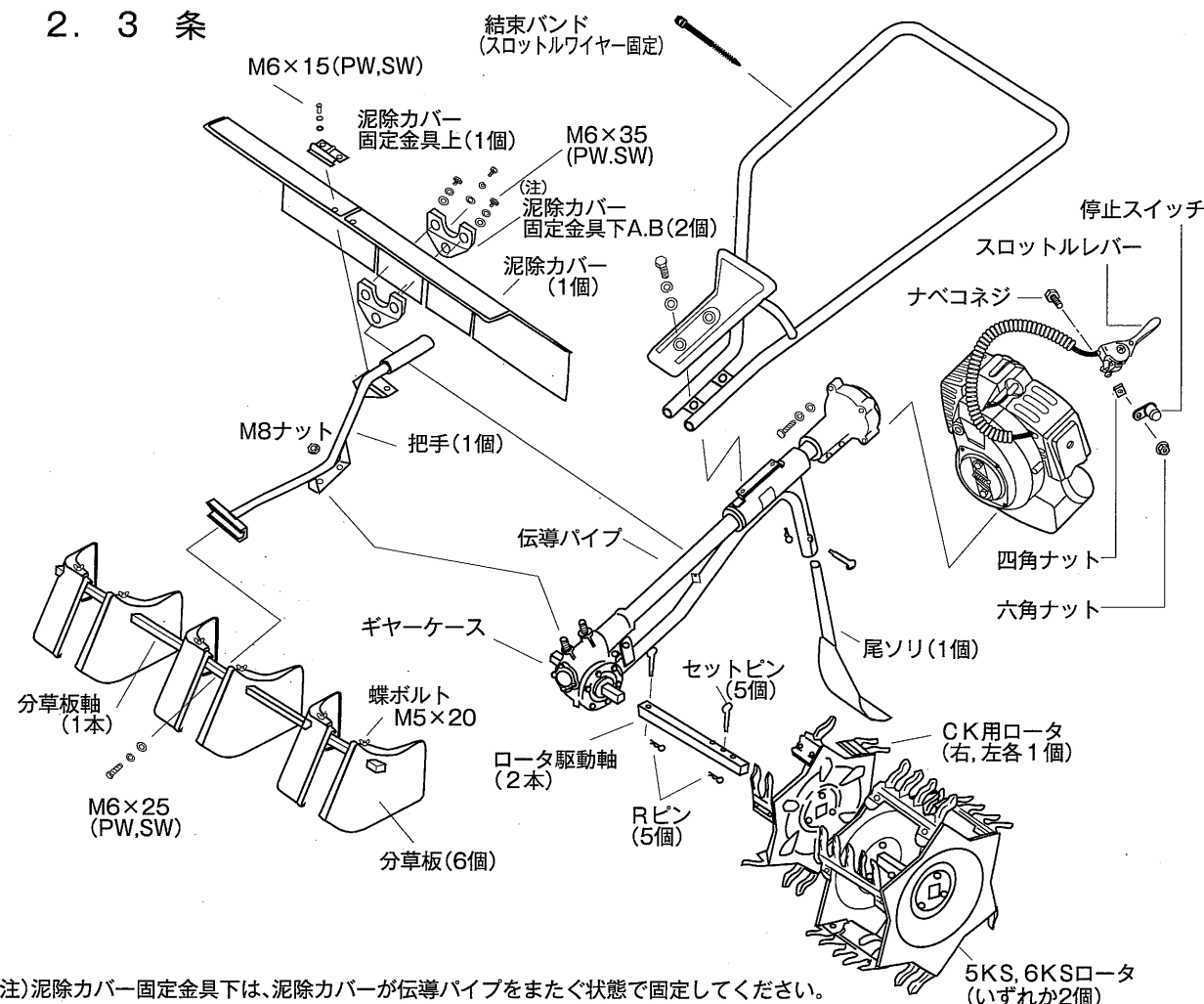
	名　　称	ミニカルチ隣接2条型		ミニカルチ3条型		5条用部品
本機	セット型式	MKC21-5	MKC21-6	MKC31-5	MKC31-6	4K5J
	全長×全幅×全高 mm	1,360×540×895		1,340×840×895		——
	質　　量 kg	11.6	11.8	14.0	14.2	4.1
	伝導方式	遠心クラッチ ⟶ウオームギャー(減速比1／35)				——
	作業条数	2		3		(5)
	適用植幅 cm	27~30	30~33	27~30	30~33	27~30
	ロータ幅 cm	14.4	18.0	14.4	18.0	10.8
	ロータ径 cm	φ41.0		φ36.0		φ36.0
	ロータ回転数 rpm	120~180				——
	能　　率 a/h	16		18	20	(27)

※重量はエンジンを含まない。　　※5条用部品は3条型に適用

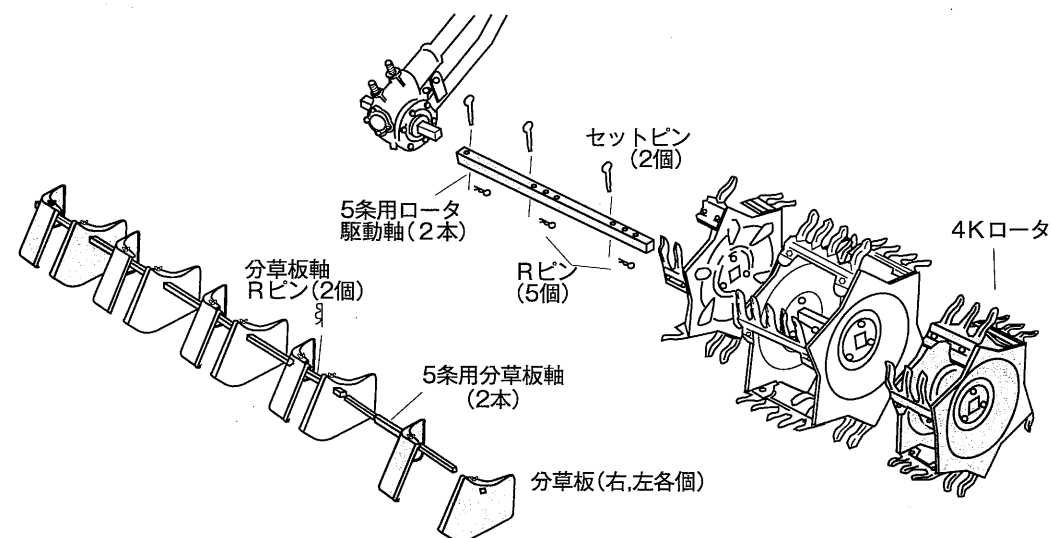
	型　　式	CE420
エンジン	排気量 cc	41.5
	出　力 ps/rpm	2.1／7,500
	質　量 kg	4.2

各部の名称と組付方法

1. 隣接2条

(注)泥除カバー固定金具下は、泥除カバーが伝導パイプをまたぐ状態で固定してください。

2. 3　条

(注)泥除カバー固定金具下は、泥除カバーが伝導パイプをまたぐ状態で固定してください。

3. 5条用部品の組付方法

□部は5条用部品としての追加部品です。

取扱い上の注意

1.点検

始動前に各部のボルトナットの弛みを点検してください。

2.エンジンの燃料

本機のエンジンは、2サイクルです。混合燃料を使用してください。
混合比は、ガソリン25に対して2サイクル専用オイル1の割合です。

3エンジンの始動

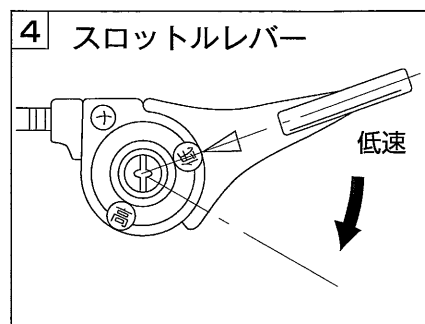
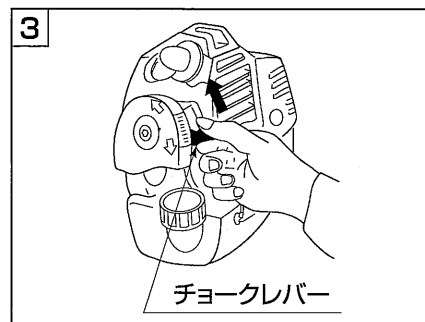
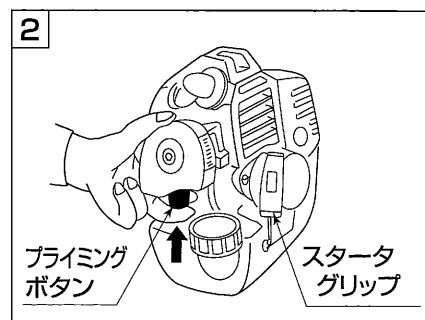
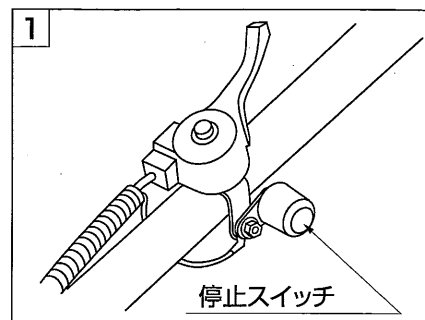
① プライミングボタンを指で上に当たるまで繰り返し押して下さい。〔10回以上〕
プライミングボタンを押すのは燃料を汲み上げ、始動を容易にするためです。

② チョークレバーを全閉位置（ マーク側）にして下さい。燃料が残っていて、且つエンジンが暖まっている場合は、チョークレバーは全開位置（ マーク側）にして下さい。

③ スロットルレバーを「低速」の位置と高速位置の1／3～半開まで動かして下さい。

④ スタータグリップを軽く引き、重くなった位置から強く勢いよく引いて下さい。（その際ロープの最後までは引かないで下さい。）

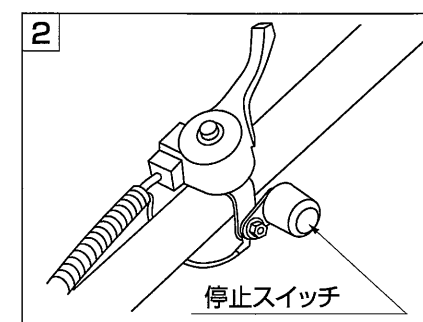
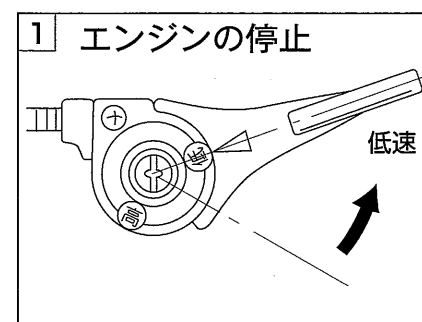
⑤ 始動後、エンジンの調子を見ながら徐々にチョークレバーを全開位置（ マーク側）にして下さい。
爆発音のみで始動しない場合は、チョークレバーを全開位置にして再びスタータグリップを勢いよく引っぱって下さい。

・ 本エンジンはプライミングボタン操作を行った時、余分な燃料はタンクに戻る構造になっています。プライミングボタン操作を多く行っても吸い込みすぎ状態になりません。むしろ少ない場合に始動不良なることがありますので、充分行って下さい。

⑥ エンジンが始動したら、スロットルレバーは低速回転側いっぱい（アイドリング位置）に戻し、1～2分間暖機運転して下さい。

⚠注意 暖機運転中は機械から離れずに、人が近づかないようにして下さい。

⚠注意
・ 可燃物（ガソリン、揮発性のある薬品類等）が近くにあるところでは、運転しないで下さい。
・ 感電事故防止のため、運転中はプラグキャップや高圧コードにさわらないで下さい。
・ ここで実作業に入る前に4.エンジンの停止の項に従って、停止スイッチを押してエンジンが停止することを確認し、停止の練習をして下さい。

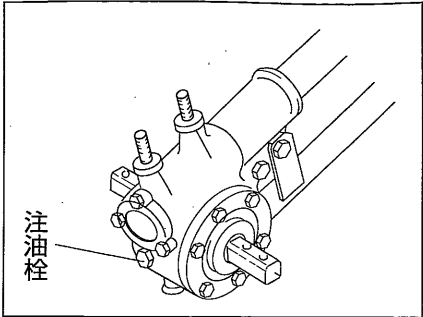
4.エンジンの停止

① スロットルレバーを低速位置にして下さい。
② 停止スイッチを押して下さい。

重要 高速回転で運転中に急に停止させることは、エンジンに無理がかかり、故障の原因になります。緊急時以外は、スロットルレバーをアイドリング位置に戻してからエンジンを停止して下さい。

⚠注意 火傷防止のため、運転中およびエンジン停止後しばらくはシリンダやマフラ等の高温部にはさわらないで下さい。

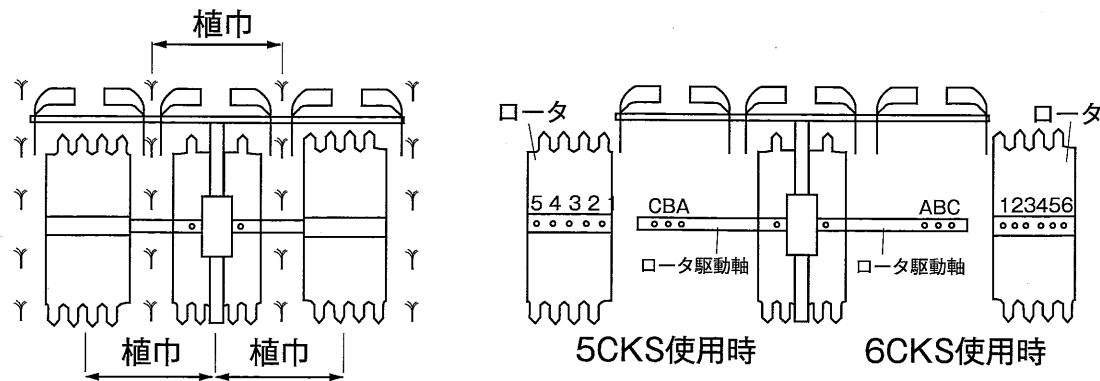
（注）エンジンについては、エンジンの取扱い説明書を参照してください。

5. ギヤーオイルの交換

ギヤーケースには出荷時、ギヤーオイル140番が入れてあります。補給交換の際はこれに相当する銘柄のオイルを必ず使用するようにしてください。交換はギヤーケースの注油栓をはずして、前記の潤滑油100ccを入れてください。出荷時、予備の潤滑油がポリ容器に100cc入れてあります。最初10時間使用したらオイルを交換しますが、次からは20時間ごとに交換してください。その場合ポリ容器をゲージとして使用します。なお本機は給油口が排油口を兼ねていますので、給油の際は機械を上向きにして行い、排油の際は給油口を下向きにして行います。排油の作業は、できるだけ運転直後のギヤーケースの暖かいうちに行ってください。

作業方法

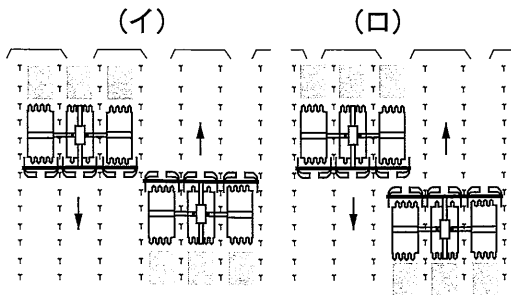
1. ロータ位置の調節（3条）

駆動軸及びロータ軸にある数個のピン穴を、適当に合わせることにより1cmずつの微調整ができますが、下図のように、本機の中心よりロータの中心までが植え幅になるように合わせてください。同時に分草板もロータに合わせて調節してください。

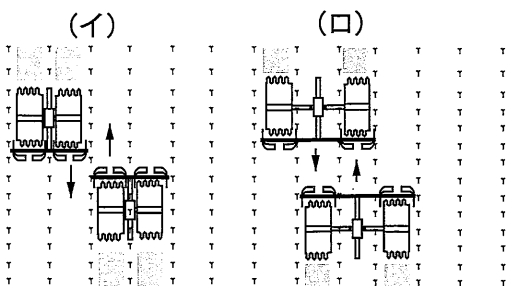
ロータ種類		5CKS	6CKS
植え幅 30cm(標準)	ロータ	2の位置	3の位置
	ロータ駆動軸	Cの位置	Cの位置

2. エンジンを始動して1～2分低速で暖機運転をします。

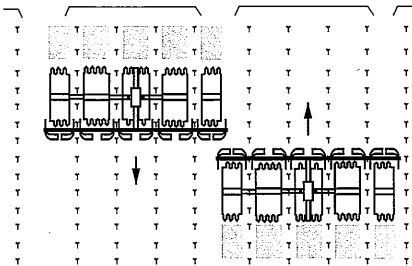
3. 暖機運転後、徐々にスロットルを引きロータの回転数が120～140rpmで運転します。スロットルレバーの位置は水田の状態に合わせて調整してください。向こう側の畦まで行きましたらスロットルを戻し、ロータが止ってから方向転換をし、後は同じ要領で作業を続けます。

4. 田植機（2条）を使用した圃場で植え付け幅が正常でほぼ等間隔の場合には（イ）のように作業してください。植付け幅が不揃いの圃場では、植幅の定まっている条に（田植機の植幅）に中央ロータを合わせて作業してください。（ロ図参照）

■2条植え田植機使用の圃場

5. 田植機（2条）を使用した圃場で、
・隣接2条用作業機では、（イ）のように、・3条用から中央ロータをはずした2条用作業機では、（ロ）のように作業してください。

■2条植え田植機使用の圃場

6. 田植機（4条）を使用した圃場では、5条用作業機が最適で、能率よく楽に作業ができます。

また、植付け巾が均等な圃場及び、6条植え、8条植え田植機を使用した圃場では、外側ロータに広巾ロータ（5号）を使用しますと、一度に5条づつ作業ができます。

■4条植え田植機使用の圃場

保守、点検、保管

1. 各部の弛み、破損、オイル漏れの有無を調べてください。

2. 1ヶ月以上使用しない場合は本機各部の汚れを清掃し、作業機のロータ、ロータカバー等の錆びの発生の恐れがある部分は油の染みた布で良く清掃してください。

燃料タンク及び気化器内の燃料を抜き取り、点火プラグ孔より潤滑油を少量注入し、クランク軸を数回手回しして点火プラグを取付け、圧縮のあるところまで回して止めてください。

サービスと保証について

■保証書について

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。
お読みになられたあとは、大切に保管してください。

⚠ 警告

機械の改造は危険ですので改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外になりますので、ご注意ください。

■アフターサービスについて

○始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、すぐに適切な整備をしてください。お買い上げの販売店にご連絡ください。
○連絡していただく内容
●機種名
●製造番号
●故障内容　なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話ください。
○本製品を安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。
年に一度は、お買い上げの販売店に、点検整備をお願いしてください。
このときの整備は有料となります。

■補修部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、本製品の製造打ち切り後9年です。
但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

製品につきましては万全を期しておりますが、万一お客様に不都合が生じた場合には、下記のフリーダイヤルへ内容を十分ご確認の上ご連絡ください。

◆お客様相談窓口
（丸山サポートセンター）0120-898-114
ご利用時間　9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

MEMO